印西市立中央公民館施設の今後について

令和８年８月

印西市 教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

１　検討の背景・概要

中央公民館は、昭和 54 年の開館以来、木下駅圏における生涯学習・社会教育の拠点として各種事業を実施するとともに、市民の学習活動や文化芸術活動の場として、多くの方々に利用されてきました。

一方で、建築から 48 年が経過し、建物及び設備の老朽化が進んでいるほか、敷地の一部が民有地であることから、現在地で施設を更新し、将来にわたり使用を継続していくことには、コスト面においても課題があります。

このため、これまでの各種計画等において、中央公民館については、将来的に他の公共施設と併せて木下駅南口公共用地（現 木下駅前にぎわい広場）への集約化を進める方向で検討することとしてきました（別紙参考資料を参照）。

また、今年度からは、木下駅前にぎわい広場周辺のまちづくりの方向性を示す「（仮称）木下構想」の策定を進めるとともに、「（仮称）生涯学習ビジョン」において、公民館を含めた生涯学習・社会教育のあり方について検討を進めることとしています。

これらを踏まえ、中央公民館の木下駅前にぎわい広場への移転に向けた今後の検討の進め方について整理します。

２　現状と課題

（１）建物・設備の老朽化

耐震診断により耐震性は確保されていますが、建築から長期間が経過し、建物及び設備の老朽化が進行していることから、大規模な改修工事が必要な状況となっています。

（２）敷地の賃借

敷地の一部が民有地であるため、賃借料が継続的に発生しており、その負担の解消を図る必要があります。

（３）施設改修時の課題

現施設は周辺道路が狭く、工事車両等の進入や工事内容に制限があることから、改修工事の施工や工事期間中の施設利用に課題があります。

３　今後の進め方

（１）中央公民館については、これまでの各種計画等における方針を踏まえ、木下駅前にぎわい広場への移転を基本として検討を進めます。

（２）「（仮称）木下構想」及び「（仮称）生涯学習ビジョン」の策定と連携を図り、市民の皆様のご意見を伺いながら検討を進めます。

（３）木下駅前にぎわい広場への移転により、施設の老朽化及び賃借に伴う課題を解消するとともに、利用者の利便性向上を図ります。また、木下駅前にぎわい広場などの公共空間における公民連携の推進や、歴史・文化資源及び公共施設の集積を活かしたまち

づくりとの連携を強化することで、木下駅圏のにぎわい創出及び地域活性化を図ります。

（４）中央公民館については、木下駅前にぎわい広場への移転までの間、利用者の安全確保に必要な修繕を実施しながら、施設の運営の継続に努めます。

（５）移転後の施設の機能や整備内容などの詳細については、利用者や地域の皆様などにご意見を伺いながら、今後検討を進めます。

４　スケジュール

令和８年　８月	政策決定会議、教育委員会定例会（今後の進め方を決定）
	関係団体や地元町内会、市議会等への情報提供（書面）
	総合教育会議（公民館のあり方について議論）
	中央公民館利用サークル懇談会役員会
９月～11 月	ワークショップ（(仮称）木下構想と併せて実施）
10 月	公民館運営審議会
11 月	社会教育委員会議
11 月～12 月	総合教育会議（公民館の先進事例について議論）
令和９年　１月	（仮称）生涯学習ビジョン 中間まとめ
１月～２月	（仮称）木下構想 パブリックコメント
	教育委員会定例会（(仮称）木下構想・(仮称）生涯学習ビジョン中間まとめ 報告）
２月～３月	公民館運営審議会、社会教育委員会議
	（仮称）木下構想策定
	教育委員会定例会（(仮称）木下構想 報告）
	（仮称）木下構想公表
４月～	（仮称）生涯学習ビジョン素案作成
５月～８月	ワークショップ（(仮称）生涯学習ビジョン）
10 月	公民館運営審議会、社会教育委員会議
11 月	政策決定会議、教育委員会定例会（ビジョン素案確定）
12 月	（仮称）生涯学習ビジョン素案 市議会説明
	（仮称）生涯学習ビジョン パブリックコメント
令和 10 年　３月	（仮称）生涯学習ビジョン策定、公表
４月～	上記を踏まえて整備に向けた調整